

千秀だより

横浜市立千秀小学校

5月号

平成27年(2015) 5月 1日



「輝く千秀の子どもたち」

校長 市川 幸 男

早いもので今年度がスタートしてはや1か月がたちました。子どもたちは一つ上の学年となり、決意も新たに学校や家庭でいろいろなことにチャレンジしようとしています。

先日の授業参観、学校づくりを語る会にはたくさんの方々においでいただきありがとうございました。その中でもお伝え致しましたが、本年度も「子どもが主役となり、全ての子が学校で輝く」ことを目指した学校経営を進めていきたいと考えています。特に本年度は、学校が目指す姿や方向の具体化を進め、日常的に子ども達が学校生活の中、自分の思いをしっかりと出し、輝いていかれることを重点にしていきたいと考えています。そんなことを考えて子ども達を見ますと、「すばらしいな。」と感じる場面がいくつもあります。そのいくつかをご紹介します。

○「おはようございます。」の元気な挨拶が聞こえる時、

朝「おはようございます。」の元気な挨拶に出会った時はうれしいものです。しかも、笑顔のおまけが付いた時は最高にうれしいものです。これから、昨年度に続き、子ども達が校門の前で挨拶運動をしていきますが、挨拶をすると、下級生の子どもたちも、元気よく挨拶を返しています。そのような姿を見ると微笑ましい限りです。

○校庭で元気よく遊んでいる光景

中休みや昼休み、子どもたちの本当の姿や、本気の姿が見られます。そんな中で仲良く遊んでいる場面はいいものです。中でも6年生が、低学年の子どもと手を繋ぎ、やさしく一緒に遊びに興じている姿は、最上級生としての意識の高まりを感じるとともに、千秀の子どもへの優しさを感じます。

○ほうきやぞうきんを持って一生懸命に清掃している姿

清掃の時間、友だちと力を合わせて黙々と清掃している姿をよく見かけます。「きれいにしてくれてありがとう。」という言葉が自然にかけたくなる、すばらしい姿です。校舎の階段を一段ずつ、雑巾で水拭きをしている姿や、細かいところまでをていねいに清掃している姿も見られ、大変立派だと思います。

○「はい。」「ありがとうございます。」「ごめんなさい。」「さようなら。」等のきれいな言葉が聞こえてきた時。

毎日学校内を回っていますが、教室の中から、元気な子ども達の声が廊下に届き、一生懸命学習に打ち込んでいる姿や、友人と和やかに語り合っている姿が浮かんできます。「おはようございます。」だけでない、人と人をつなぐ潤滑油としての言葉かけ(あいさつ)が自然に出て、周りの仲間への思いやりの豊かさを感じます。

この他にもご紹介できませんが「すばらしい場面」がたくさんあります。このような子どもたちの良さを今後も伸ばしていきたいと思えます。

さて、5月30日(土)には一大イベントの運動会を予定しています。運動会の取り組みでは、その取り組みの中で、個人の運動能力を高めるとともに、自ら企画し、計画を推進する力や友達と連携し、最後まであきらめない強い心を育てていく場としていきたいと思えます。運動会当日の子どもたちの頑張りをご覧ください。連休明けには、本格的な練習が始まりますので、子どもたちの体調管理にはご家庭でも充分配慮をお願いします。